

下大和田谷津田だより

2003年7月号

第25回谷津田プレート・プロジェクト(YPP) 古代米の田植えと草刈り& カエル模型づくり

6月21日 晴れ

夏至直前の強い日差しを浴びて最初の作業は雑草取り。春に一度取ったのですが、生きものがぐんぐん生長・成長するこの季節、稲を植えていない田んぼはあっという間に雑草だらけになっていました。今年は外来種のアメリカセンダングサが特に多いようです。

田植えは、昨年も古代米を育てた土水路側の田(2.7畝)の4分の3くらいにもち米の緑米、残りには葉が紫色の紫米を植えました。今年ももちつきが楽しみです。コシヒカリ田の隣(1.7畝)には、きれいなドライフラワーが作れる赤米と健康食として有名な黒米を植えました。

今回は作業に加えて、アカガエルの石膏模型に色付けをしました。ようやく見つけた1匹の親ガエルをモデルにしてじっくり観察しながら描いたり、自分の好きな色をつけたり、思い思いのカエルができあがりました。

田んぼにはメダカやドジョウの稚魚が泳ぎ、シオカラトンボがさかんに産卵していました。畦で元気くはね回っているアカガエルのちびたちも、間もなく周りの林に移動するので、その姿が見られるのもあとわずかです。

今年の植え付けは全部で7.7畝。実りの季節がたのしみです。

(参加者：大人21人・小学生5人・乳幼児4人、報告：高山邦明)

第41回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

6月1日

5月10日の田植え直後、小川のザリガニが大量に死ぬ事件があり、今回は「谷津田の水生生物」に注目して、その後の状況を探ってみました。残念ながら、生き物は非常に少なく、1ヶ月では回復に至らないようでした。小川4カ所での調査結果は次のとおりです。

1. 大塚さんの田の横(最上流)：メダカ2、ザリガニ7、カニ9
2. 大塚さんの田の下：死体1、ザリガニ3、カニ3
3. 大塚さんの田と私たちの田の間：ドジョウ1、ザリガニ1、ザリガニ死骸3、マジミ貝殻2
4. 私たちの田の下：ギョウナ1、死体1、ドジョウ4、シメジヨウ1、メダカ1、ズシエ1、ザリガニ5、カニ5

私たちの田んぼ(小川側)にはメダカやドジョウの幼魚が多数おり、シュレゲルガエルのオタマジャクシやマルタニシ、ヤゴなどが採取できました。小川の生物の少なさは衝撃的であり、今後も回復状況を追跡したいと思います。

(参加者：大人5人・子供1人、報告：網代春男)

下大和田季節のたより

6月7日 ヲウゴンが開花し、モジイナやウツクシがちょうど食べ頃。ヤマカエが田んぼでなわばりを張っていた。

6月21日 コガネの姿をはじめ見る。もう立派なおとな。夕方の斜面林の縁でシメジヨウが弱々しく飛んでいた。オウゴンが見頃。

6月29日 シメジヨウが普通に飛んでおり、田んぼでは羽化したてのヤマカエが稲にじっと止まっていた。その横にはまだ尻尾が少し残ったシュレゲルガエルの姿も。カガネの子どもがかたまると巣を張っていた。早朝の谷津はカエルの替わって、虫の音が一杯。ウツクシの子どもが畦でたくさん跳ねていた。

田んぼでは5月に植えたコシヒカリがぐんぐん育っています。負けじとのびる雑草取りが大変な季節です。トンボやザリガニ採り、雑木林でのカトムシやウツクシ、セミ探しなど、子どももかつての昆虫少年たちもワクワクする夏がすぐそこです。

高山邦明